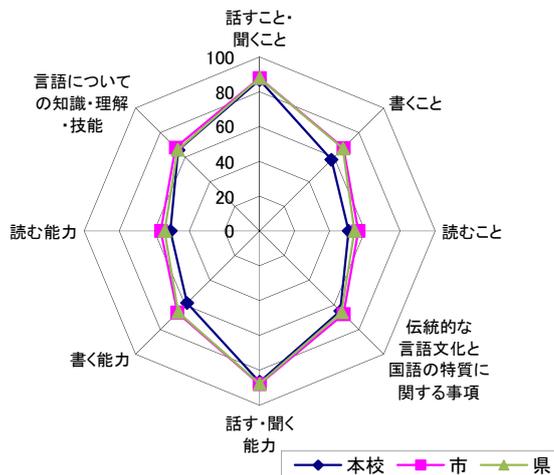


宇都宮市立海道小学校第4学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	86.7	87.9	87.8
	書くこと	57.9	67.6	67.1
	読むこと	50.8	56.3	54.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	65.0	67.6	66.0
観点	話す・聞く能力	86.7	87.9	87.8
	書く能力	58.5	66.3	65.7
	読む能力	50.8	56.3	54.1
	言語についての知識・理解・技能	65.6	67.7	66.0



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>●領域の平均正答率は86.7%で、県平均より1.1ポイント低い。 ⇒○互いの考えの共通点や相違点を整理して聞くことができるの設問の正答率は100%で、県平均より7.2ポイント高い。 ⇒●話し方の工夫に気を付けて聞くことができるの設問の正答率は66.7%で、県平均より9.6ポイント低い。</p>	<p>・授業を中心に話をしっかりと聞き取らせる指導を継続して行っていく。学級として話を聞き取る習慣の形成を図っていく中で、個々への指導を行っていく。 ・国語の授業以外でも話をする機会を増やし、相手に分かりやすく話すことや、話を真剣に聞く態度を育てる。</p>
書くこと	<p>●領域の平均正答率は57.9%で、県平均より9.2ポイント低い。 ⇒○招待する手紙で、読み手に伝えたい事柄を正確に伝えられるよう注意して書くことができるの設問の正答率は53.3%で、県平均より6.1ポイント高い。 ⇒●特に、招待する手紙を、敬体で書くことができるの正答率は61.7%で、県平均より20.2ポイント低い。</p>	<p>・敬体で書くことを作文指導や日記指導で意識して書かせたり、授業で敬体での文の書き方を再確認させたりする。 ・国語の授業以外でも招待状やお礼の手紙を書かせる作業シートを活用して学習させることにより意識化を図っていく。</p>
読むこと	<p>●領域の平均正答率は50.8%で、県平均より3.3ポイント低い。 ⇒○特に、叙述を基に、登場人物の気持ちを想像して読むことができるの設問の正答率は63.3%で、県平均より9.4ポイント高い。 ⇒●特に、場面の様子を叙述を基にして読むことができるの正答率は26.7%で、県平均より5.5ポイント低い。</p>	<p>・与えられた情報を正確に読み取ったり、正しく修正したりする力を叙述を基に読み取るような問題を準備して培っていく。また、国語以外の教科でも行い、継続した指導を行っていく。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>●領域の平均正答率は65.0%で、県平均より1ポイント低い。 ⇒○特に、2年の漢字の書くことの正答率が県平均より29.4ポイント上回る等、一定の成果が見られた。 ⇒●特に、3年の漢字の書き取りの設問の正答率が低く漢字の練習のさせ方などに課題が見られた。</p>	<p>・市で行っている学力アップシートや毎日の家庭学習を徹底して行うことにより向上を図る。 ・朝の学習を活用して、定期的に漢字の書き取りテストを実施し、その定着を図る。 ・漢字の学習の様々な仕方を紹介する等、個に応じた指導を行う。 ・既習の漢字を使うように全ての教科で指導する。</p>